

# 休日当番医など (9月1日~10月15日)

地域医療課 ☎27-8572

## 休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

9月5日(日)	磐城中央病院	小名浜南富岡	53-3511
	榑田病院	榑田 町	63-3202
	常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522
12日(日)	石井医院	小名浜本町	54-5330
	こうじま慈愛病院	錦 町	63-5141
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
19日(日)	小野整形外科医院	平谷川瀬	22-2414
	小名浜生協病院	小名浜岡小名	53-4374
	なこそ病院	勿来 町	65-7755
	加沢胃腸整形外科	常磐水野谷町	42-2198
20日(月)	中村病院	小名浜大原	53-3141
	よこぎ内科胃腸科クリニック	勿来 町	65-1111
	渡辺産科婦人科	常磐関船町	42-4567
23日(木)	かしま病院	鹿島町下蔵持	58-8010
	ゆうクリニック	榑田 町	63-1611
	いわき草木台総合クリニック	草木 台	28-1145
26日(日)	くさのクリニック	泉 玉 露	56-1060
	呉羽総合病院	錦 町	63-2181
	常磐腎ひ尿器クリニック	常磐下船尾町	43-1200
10月3日(日)	なこそ病院	勿来 町	65-7755
	常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522
10日(日)	こうじま慈愛病院	錦 町	63-5141
	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188

## 日曜 小児専門当番医 9時~12時

9月	5日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505
	12日	こどもクリニックすずき	泉 町	56-6336
	19日	いわき草木台総合クリニック	草木 台	28-1145
	26日	あおぞらキッズクリニック	小名浜大原	85-5439
10月	3日	福田小児科医院	平下 荒川	22-4272
	10日	森のこどもクリニック	榑田 町	38-7227

### 休日夜間急病診療所【内科・小児科】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208

平日：20時~23時 土曜日：19時~23時 日曜日：14時~18時、19時~23時 祝日：9時~13時、14時~18時、19時~23時

※患者・医療従事者間における新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、同感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

### 休日救急歯科診療所

総合保健福祉センター内 ☎27-8620

日曜日、祝日：9時~12時、13時~16時 (受付終了時間15時30分)

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

## 休日 診療協力医

※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】  
山口医院 (平作町) 9時~17時 ☎24-1811  
9月 5日、19日 10月 3日

須田医院 (小島町) 8時30分~12時 ☎27-6060  
9月 12日、19日・20日、26日  
10月 10日

ニュータウン腎・内科クリニック (中央台高久) 9時~12時 ☎46-0606  
9月 23日

たねだ内科クリニック (内郷御殿町) 9時~17時 ☎45-3303  
10月 3日

【整形外科】  
相田整形外科 (平中平窪) 9時~12時 ☎35-0808  
9月 19日

【泌尿器科】  
常磐病院 (常磐上湯長谷町) 9時~15時 ☎81-5522  
9月 12日、19日・20日、23日、26日  
10月 10日

【眼科】  
中央台たなか眼科 (中央台高久) 9時~14時 ☎29-1722  
9月 5日、12日、19日  
10月 3日、10日

【婦人科】  
いわき婦人科 (内郷綴町) 9時~17時 ☎27-2885  
9月 23日

【皮膚科】  
大田皮フ科医院 (四倉町) 9時~17時30分 ☎32-2787  
9月 23日

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。  
※診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

県子ども救急 ☎024-521-3790または #8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時~翌朝8時  
電話相談

●かかりつけ医を持ちまじょう

●「119」緊急ダイヤルをまじょう

●救急車は適正に利用しまじょう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

市民の

# 健康教室



提供・問い合わせ  
一社いわき市医師会  
☎38-4201

## 高脂血症と膵炎

大多数の急性膵炎は突然発症し、上腹部痛や背部痛を伴い、多くの場合、嘔吐や発熱、頻脈、白血球数の増加および血中・尿中の膵酵素の上昇が認められます。

発症する主な原因は、アルコールと胆石で、それ以外の膵炎は特発性に分類されます。その中でも高脂血症に伴う膵炎が、食生活の欧米化とともに増加しています。

一般的に、血中の中性脂肪(TG)値が1000mg/dlを超えるると急性膵炎の発症リスクが高くなり、その頻度は、TG値が1000mg/dl以上で8%、TG値が2000mg/dl以上で10~20%と、TG値が高くなるにつれて発症頻度が上昇します。また、TG値が2000mg/dlを超えると、重症化する確率も高くなります。

TG値が高くなる原因には、遺伝子異常や糖尿病、肥満、大量飲酒、妊娠、薬剤性があります。高脂血症に伴う膵炎は、膵炎全体の1~4%と頻度は少ないですが、若年発症で重症化しやすいため注意が必要です。71・5%が重症例であったとの報告があります。

治療は、一般的な急性膵炎の治療に加えて、TG値を500mg/dl以下に低下させることを目標に、血漿交換などの血液浄化療法を行う場合もあります。

予防は、食事療法と禁酒に加え、中性脂肪を減らす薬剤が必要となります。また、糖尿病を合併している方は、より厳格な血糖コントロールが必要になってきます。いずれにしても、暴饮暴食には気を付けるようにしてください。

## 総合診療科医療録⑥

## けんこうQ&A

## 消化器科⑥

### 過敏性腸症候群(IBS)

Q どのような病気でしょうか?

A おなかの痛み、便秘や下痢などが数カ月以上続くときに、最も考えられる病気です。

Q どのようにして診断するのですか?

A まずは、大腸に腫瘍や炎症などの病気がないことを確かめることが大切です。そのために、内視鏡やレントゲンを用いて大腸を検査します。

Q 治療法を教えてください。

A 生活習慣の改善が大切です。食事をバランス良く規則的に取り、暴食を避け、規則的に食事をとります。

高齢の方で、ぶつけてもいないのに手に青あざ(いわきの方言で「ぶらんず」)ができたが、特に血液をサラサラにする薬も飲んでいないし、採血しても異常がないという経験はありませんか。それはおそらく老人性紫斑です。

老人性紫斑は、加齢により血管を支える組織が弱くなるため、気付かない程度の刺激で出現する斑状の青あざのことを言います。自然に消失

### 老人性紫斑

しますので、特に治療の必要はありません。また、場所を変えて出現したり、新旧の紫斑が同時に混在したりすることもあります。

老人性紫斑が出現しやすい部位は前腕から手の甲にかけてです。それ以外の部位に出現する場合は、血小板減少性紫斑病やうつ血性紫斑、スレロイド紫斑、アレルギー性紫斑病など、その他の治療を要する疾患の可能性があるので、医師に相談することをお勧めします。